

【デイトレ道場】 デイトレならSBI証券で！「日計り信用取引」活用法

③デイトレのコツ

- デイトレードのポイント
- トレンドを重視する
- 分足の活用と時間の設定について
(HYPER SBI 2のチャート画面)
- 売買タイミングの計り方

講師プロフィール

- 株式会社インベストラスト代表取締役 福永 博之
- 国際テクニカルアナリスト連盟 国際検定テクニカルアナリスト
- 勸角証券(現みずほ証券)を経て、DLJdirectSFG証券(現楽天証券)に入社。同社経済研究所チーフストラテジストに就任、現在、投資教育サイト「itrust(アイトラスト)」を運営し、セミナー講師を務めるほか、毎日マーケットコメントを発信。また、大前研一氏のビジネス・ブレイクスルー大学資産形成力養成講座の講師を務める。
- テレビ、ラジオでは、日経CNBC「昼エクスプレス」、テレビ東京「モーニングサテライト」、TokyoMX「東京マーケットワイド」、ラジオ日経「ウイークエンド株」、「スマートトレーダーPLUS」などの番組にレギュラー出演中。また、四季報オンラインやダイヤモンドZAIなどのマネー雑誌にも連載を持つ。
- 「テクニカル分析 最強の組み合わせ術」2018年6月発売(日本経済新聞出版社)、「ど素人が読める株価チャートの本」(翔泳社)、がそれぞれ台湾で翻訳され出版される。また「テクニカル分析 最強の組み合わせ術」が台湾で増刷されるなど大好評。「実力をつける信用取引 売買戦略からリスク管理まで」(パンローリング)、「新取引ルール対応 信用取引の基本と儲け方ズバリ！」(すばる舎)、「FX一目均衡表ベーシックマスターブック」(ダイヤモンド社)など多数。
- テクニカル指標の特許「注意喚起シグナル」を取得、投資&ビジネスメモツールi-tool(アイツール)を提供中。
- アイトラストホームページ: <https://www.itrust.co.jp>
- 注意喚起シグナルを搭載したアイチャートは、ストックウェザー株式会社が提供中。
- アイチャートホームページ: <https://www.stockweather.net/>
(2022年4月11日現在)

おことわり

本冊子に記載されている事項は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。本冊子の解説は一般的な解釈・通説を紹介したもので、その内容通りに投資したとしても投資収益があげられるとは限りません。

最終的な投資決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

なお、予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

本冊子に掲載されている内容の著作権は、原則として弊社に帰属します。著作権法により、弊社に無断で転用、複製、転売等することはできません。但し、個別に条件が提示されている場合は、当該条件が優先するものとします。

デイトレードのポイント

●トレンドを重視する

- 日足で上昇トレンドの銘柄を買いでエントリー
- 日足で下降トレンドの銘柄を売りでエントリー

●流動性がある銘柄かどうかを確認する

- 流動性が低い銘柄は売買しない
- 流動性が低い銘柄は売買単位を最小限にする

●貸借銘柄かどうかやHYPER空売りなどの売りが可能か確認する

- 空売りができる銘柄の方が流動性が高く、下げた後の反発力が高いことが多い

●買いか売りのエントリーを行う前にトレンドを判断する

- エントリーの方向と逆に動いた場合は早めにロスカットする

●分足を活用する

- 3分～5分足（時間が長すぎると売買タイミングが遅れる）

トレンドを重視する(判断方法)

●エントリーの材料

- テクニカル分析を活用する

●日足のトレンドを重視し、エントリーのタイミングは分足を活用

●トレンド判断に活用するテクニカル指標

- 移動平均線(主に5日移動平均線の向きを重視、中長期も同じ向きなら尚可)
- 5日移動平均線の向きが上向き(買いでエントリー)
- 5日移動平均線の向きが下向き(売りでエントリー)

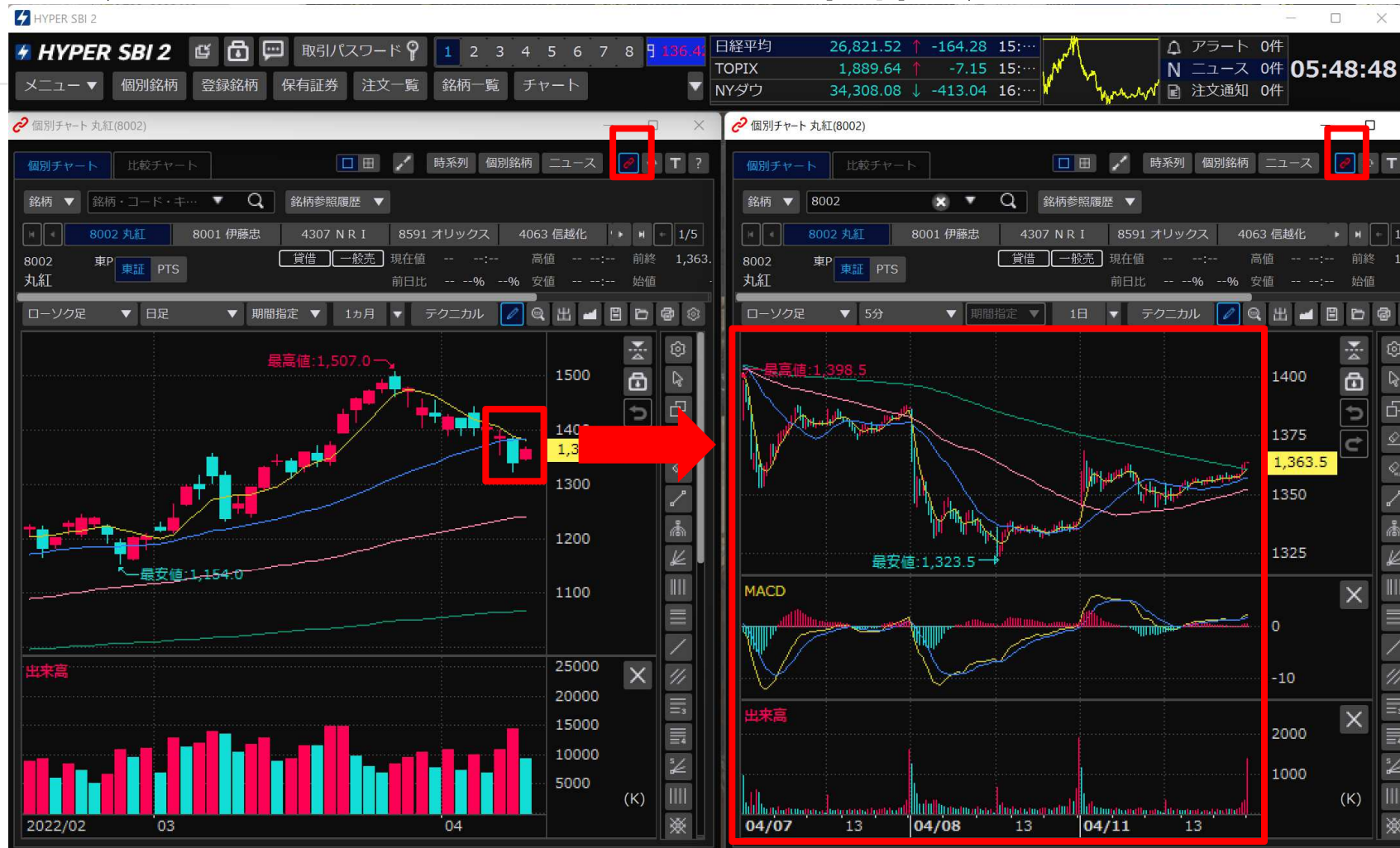
●売買タイミングに活用するテクニカル指標

- MACD、ストキャスティクス

●エントリーのタイミング

- 上昇トレンドの買いシグナルで買いエントリー
- 下降トレンドの売りシグナルで売りエントリー

分足の活用と時間の設定について (HYPER SBI 2のチャート画面)



売買タイミングの計り方(具体例)①

●日足のトレンドを確認

- 5日移動平均線が上向き & 株価が移動平均線より上(上昇トレンド)
- 5日移動平均線が下向き & 株価が移動平均線より下(下降トレンド)

●分足の活用

- オシレーター系のテクニカル指標でエントリー
- オシレーター系のテクニカル指標でイグジット

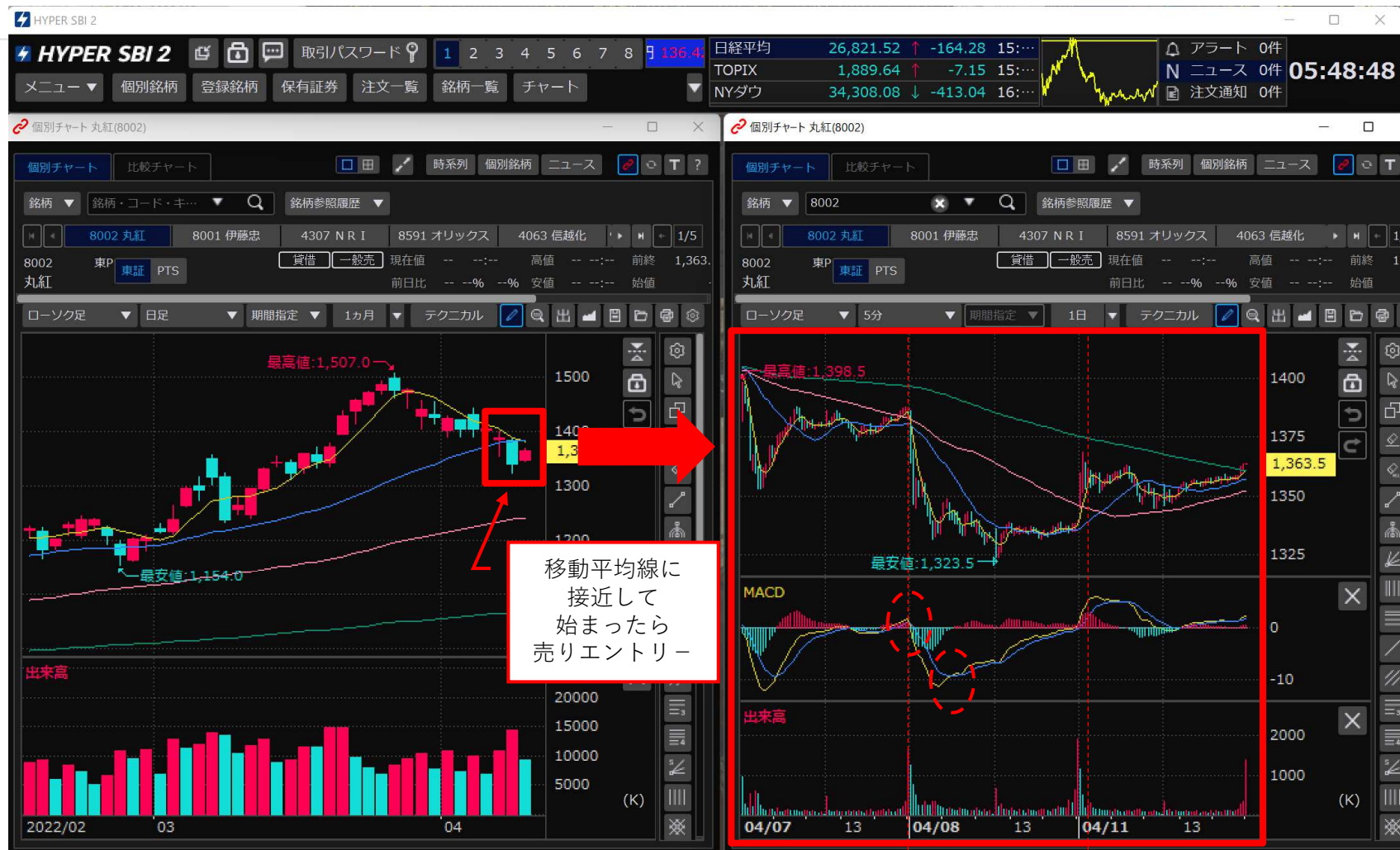
●日足が上昇トレンド

- オシレーター系(分足)の買いシグナルで買いエントリー

●日足が下降トレンド

- オシレーター系(分足)の売りシグナルで売りエントリー

売買タイミングの計り方(具体例)②



信用取引に関するリスク

信用取引は、差し入れた委託保証金額の約3倍の取引を行うことができます。そのため、現物取引と比べて大きなリターンが期待できる反面、時として多額の損失が発生する可能性も含んでいます。また、信用取引の対象となっている株価の変動等により、その損失の額が、差し入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。この場合は「追加保証金」を差し入れる必要があります。状況が好転するか、あるいは建玉を決済しない限り損失が更に膨らむリスクを内包しています。

HYPER空売りに関するご注意

HYPER空売りは、HYPER料が必要となります。各銘柄のHYPER料については、HYPER空売り銘柄一覧画面をご確認ください。

また、HYPER空売り銘柄の建玉を翌日以降に持ち越した場合、「建株数×HYPER料×持ち越し日数(受渡ベース)」のコストがかかります。

【本資料の免責事項・注意事項】本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。本資料は、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。万一、本情報に基づいてお客様が損害を蒙ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料に記載されているパフォーマンス等のデータは過去のものであり将来を予測し保証するものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。これらの商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。商品毎に手数料等及びリスクは異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

金融商品取引法に係る表示

https://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop6040_torihikihou.html

商号等：株式会社SBI証券（金融商品取引業者）

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 日本STO協会

【本資料の免責事項・注意事項】本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。本資料は、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。万一、本情報に基づいてお客様が損害を蒙ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料に記載されているパフォーマンス等のデータは過去のものであり将来を予測し保証するものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。